

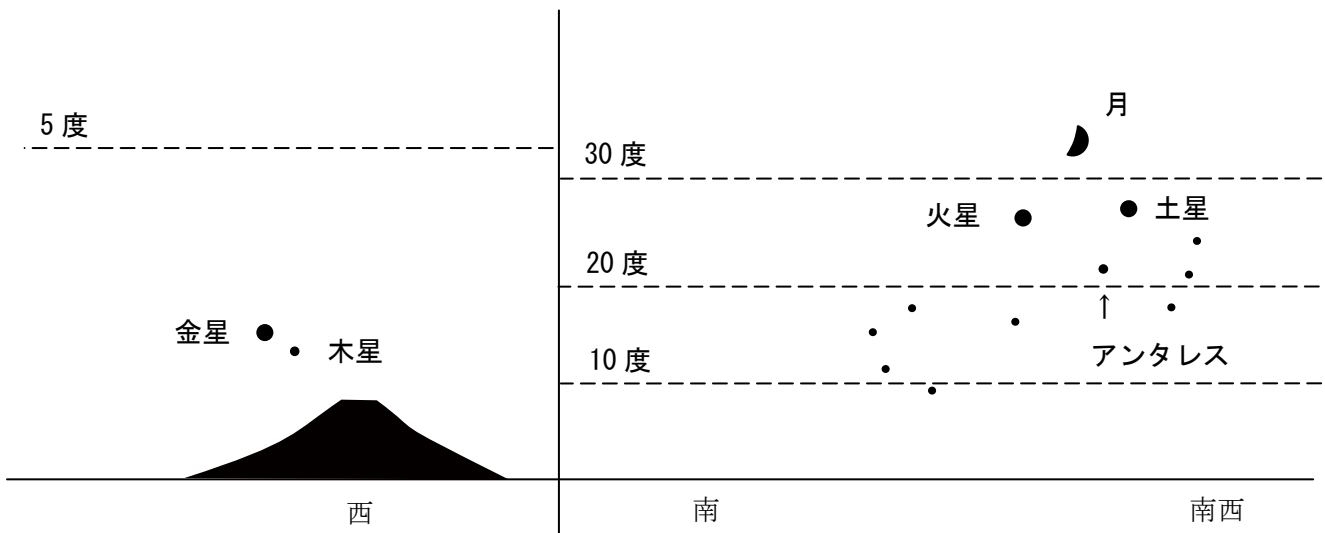
# 星を見る会

ねん がつ にち すいようび  
2016年8月24日（水曜日）

かせい せつきん み  
火星とアンタレスの接近を見よう

こんばん ほし かい  
今夜は、「星を見る会」のテーマにあるように火星とアンタレス（さらには土星）が見か  
け上、接近してならんで見えます。そして8月27日（土）と28日（日）には、夕方（ゆうがた）の西  
の空で金星（きんせい）と木星（もくせい）が大接近、まるでくっつかんばかりにならんで見えるのです。19時ごろ  
…ほぼ真西（まにし）の空（ひく）かなり低いところですが、チャレンジ（かんさつ）して観察（かんさつ）してみてください。

このように、惑星（わくせい）と月（つき）、惑星（わくせい）どうしが近く（ちか）にならんで見えることを、「会合（かいごう）」といいます。  
あか  
明るい惑星（わくせい）どうしの会合（かいごう）はとてもきれい（けいたいでんわ）ですし、携帯電話（けいたいでんわ）やコンパクトデジタルカメラ（コンパクトデジタルカメラ）でもかんたんに写真（しやしん）を撮（と）ることができます。2016年（ねん）には、このあとも9月8日（木）～9日（金）に月・火星・土星・アンタレスの会合（かいごう）が、10月30日（日）に金星と土星の会合（かいごう）が、12月3日（土）には月と金星の会合（かいごう）が起こ（お）ります。会合（かいごう）はまわりの風景（ふうけい）と合わせ（あ）せて楽しむ（たの）ことができ（ひらつか）、平塚（ひらつか）だと富士山（ふじさん）の上（うへ）に見（み）られたり（し）します、それぞれ（いちごいちえ）一期一会（いちごいちえ）です。ぜひ注（ちゅう）目（もく）してみてください。



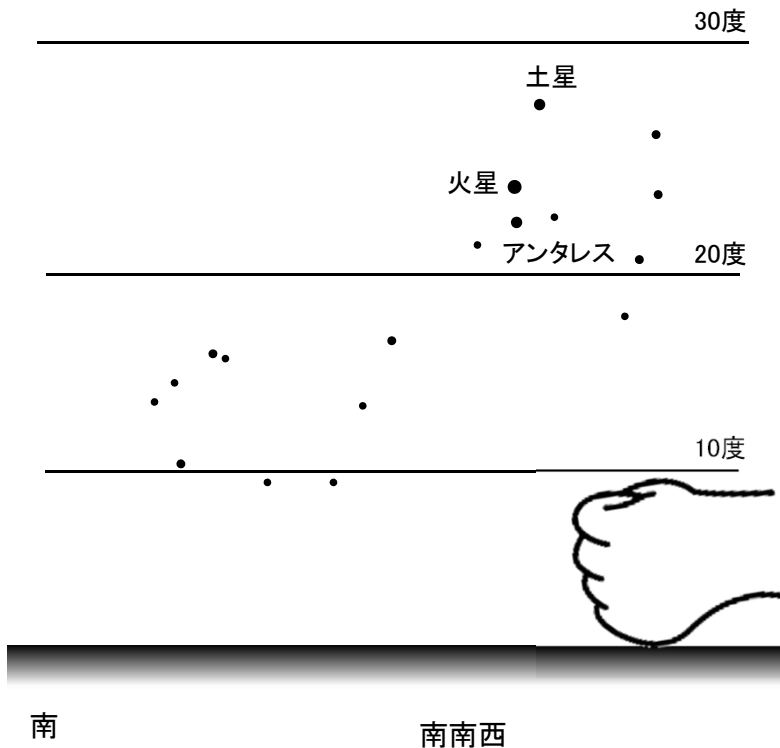
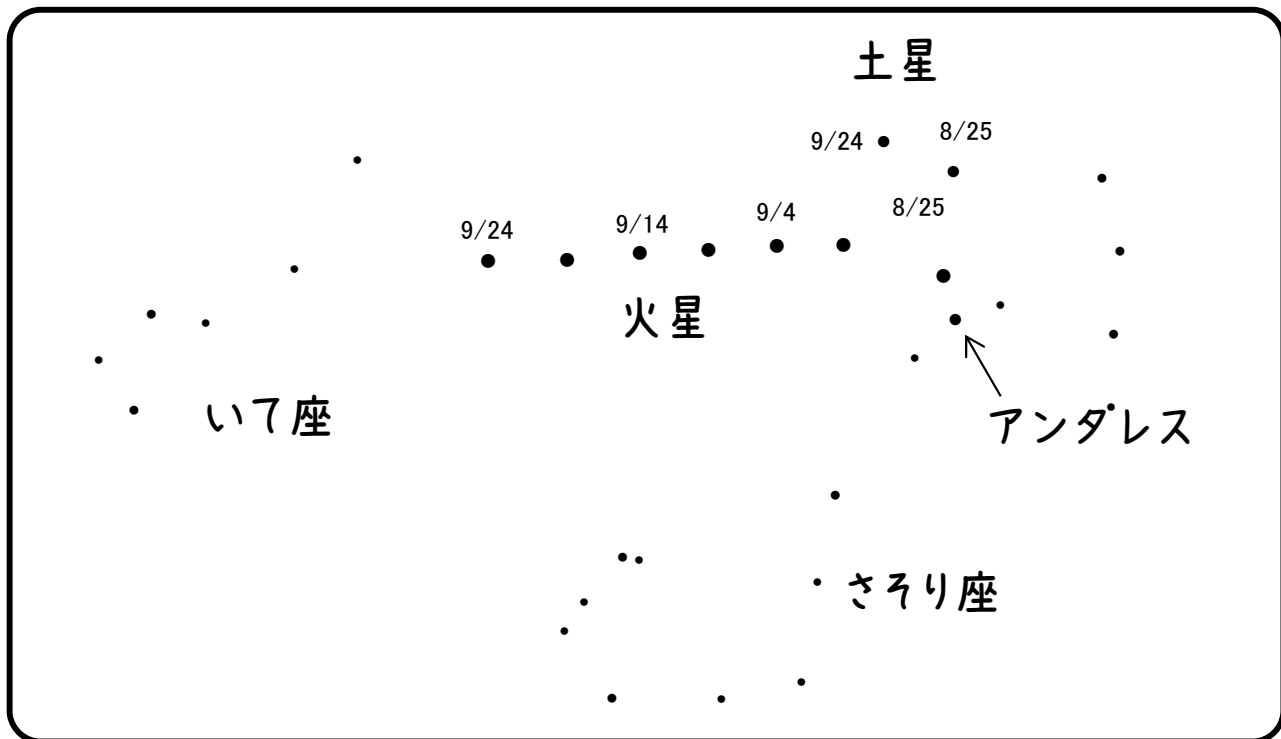
8月28日18時15分と9月9日19時の惑星会合の様子（星の大きさはイメージです）

## ☆星空の地図：星図の見かた☆

星図（せいず）は、あかるい星は大きく、くらい星は小さく書いてあります。東（あづま）をむいて立つときは、図の「東」を下（した）に、西（にし）をむいて立つときは「西」を下（した）にしてもちましよう。星図の縁（ふち）のまるい線（せん）が地平線（ちへいせん）、まるのまん中（ちゆうちゆう）が頭の真上（てんちやう）（天頂）です。

# 夜空を駆ける火星

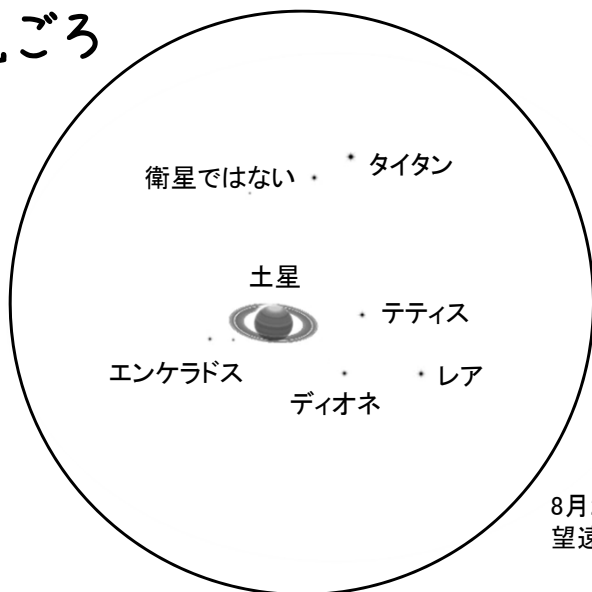
惑星はその名の通り、星空の中を惑い動いていきます。特に地球のすぐ外側を公転する火星はその動きが早いです。この夏、南～西の空で土星、アンタレスとともに小さな三角形をつくっていましたが、その形が日々変わっていく様子をこれからも観察することができます。



2016年8月24日20時の様子

## 土星もまだまだ見ごろ

土星は環(リング)だけでなく衛星にも注目。いくつ見ることができるでしょうか？環はすきまが見えるかどうかにも注目です。



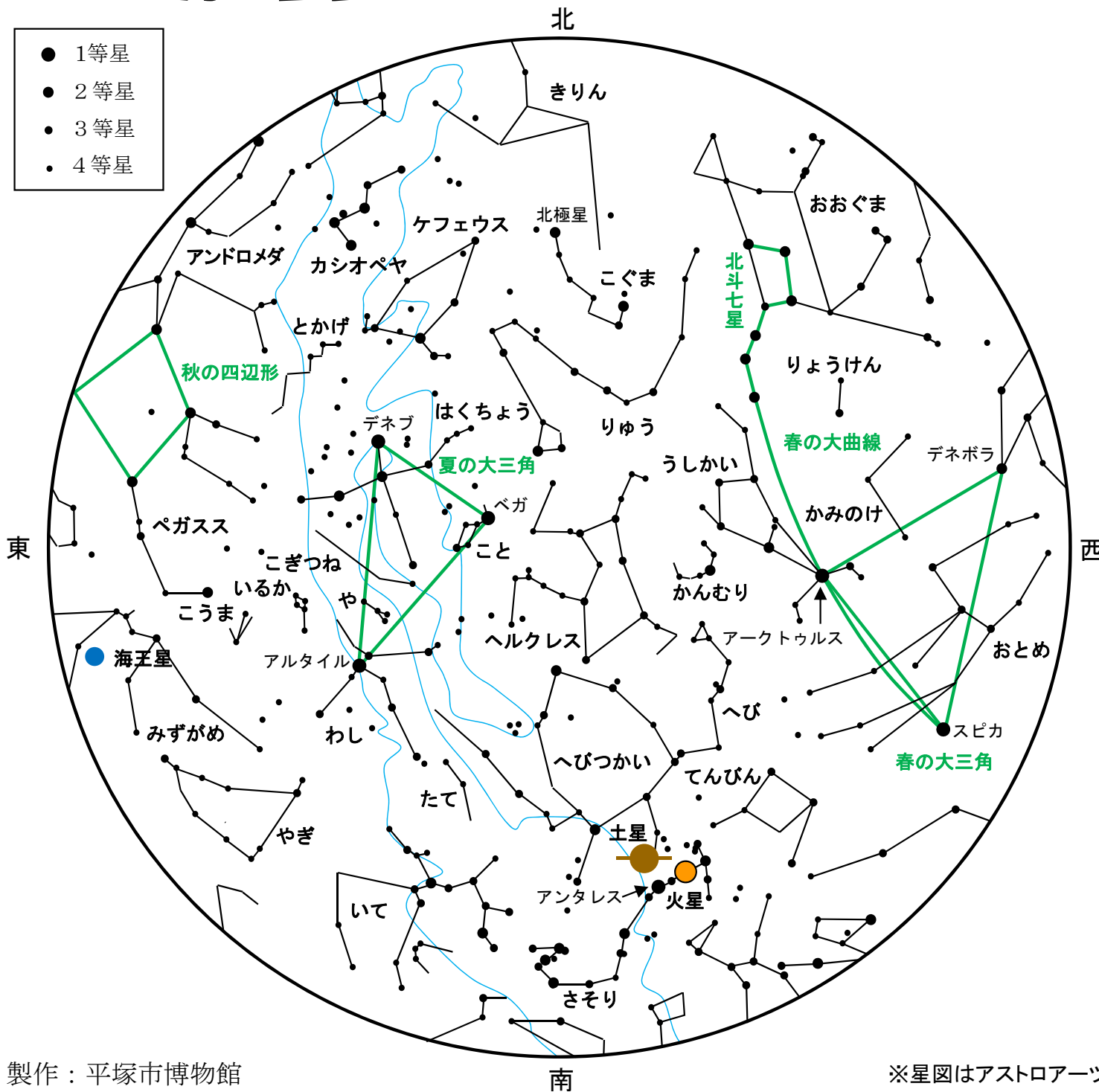
8月24日20時に望遠鏡でのぞいた様子

火星とアンタレスの“色”と“明るさ”にも注目です。アンタレスの名前の由来は『アンチ・アレスニ火星に対抗するもの』です。同じくらい赤く明るく見えるためにつけられた名前でしょう。今晚は、どうでしょうか？さらに、今年(2016年)5月31日に地球に最も近づいた火星は、いまは地球から遠ざかりつつあります。そのため、だんだんと暗くなっていきます。今晚は火星が勝っていても…数日後はちがうかもしれません。勝負の行方、ぜひ見守ってみてください。

# ☆☆8月の星空☆☆

○●8月の月・惑星●○

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星



- 月: ● 新月 → 3日(水)
- 上弦 → 11日(木・祝)
- 満月 → 18日(木)
- 下弦 → 25日(木)

## 惑星

- 水 星: 上～中旬の夕方、西の空低くに見える。
- 金 星: 夕方の西の空かなり低くに見える。
- 火 星: 夕方、南西～西の空に見える。
- 木 星: 夕方、西の空低くに見える。
- 土 星: 夕方の南西～西の空に見える。

## 観望好機

- 天王星: ほぼ一晩中見えているが、肉眼ではほぼ見えない。
- 海王星: 一晩中見えるが、肉眼では見えない。

※8月28日、金星と木星が大接近

この星図は、  
 8月 1日頃 21時頃  
 8月 15日頃 20時頃  
 8月 30日頃 19時頃  
 の星空を示しています。

惑星は15日20時頃の位置です。